



増尾地域
ぎゅっと！



福祉フェスティバル



2026年2月23日

主催 支え合い会議

共催 増尾地域ふるさと協議会

協力 増尾近隣センター

👤① (田中さん)

(会場を見る → 1秒止まる)

「みなさん、こんにちは。」

「福祉フェスティバルへお越しいただき、ありがとうございます。」

「土中学校2年 田中 です。」

「これから、柏市・増尾地域ぎゅっと！福祉フェスティバルについて、説明します。」

「地域主導」で企画したイベントです

この福祉フェスティバルは行政や福祉事業所が作ったイベントではありません。

地域の福祉施設、関係機関、教育機関が連携し、主体となって、地域住民に対して福祉に対する理解促進と地域交流の場を提供する。

また、次世代を担う子どもたちと福祉現場の橋渡しを行い、共生社会の実現に寄与します。



「このフェスティバルは、市役所や事業所が先導してつくられたものではありません。」

「増尾地域のみんなでつくったオリジナルなイベントです。今回が記念すべき初開催のイベントです。」

「今日、知ってほしい3つのこと」



困ったときに相談できる場所がある



誰かのために働き、支えている人がいる



いつもの増尾の中に、福祉の支え合いがある

(少しゆっくり)

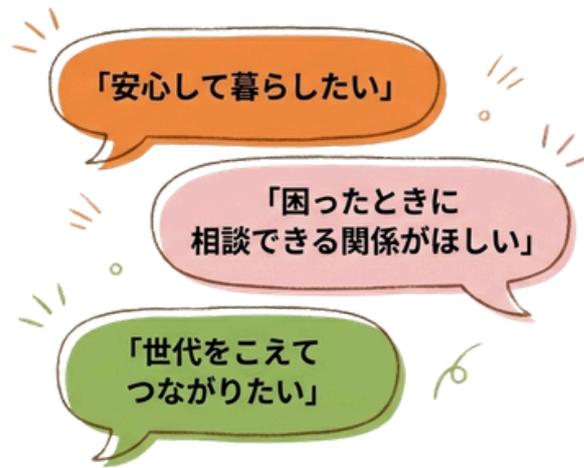
「今日、みなさんに感じてほしいことがあります。」

「困ったとき、相談できる場所があること。」

「地域には、誰かのために働き、支えている人がいること。」

「そして、いつもの増尾地域の中に、福祉の支え合いがあるということ。」

「このことを心に置いて、これからの話を聞いてください。」



みんなの声から生まれた企画です

👤② (大金さん)

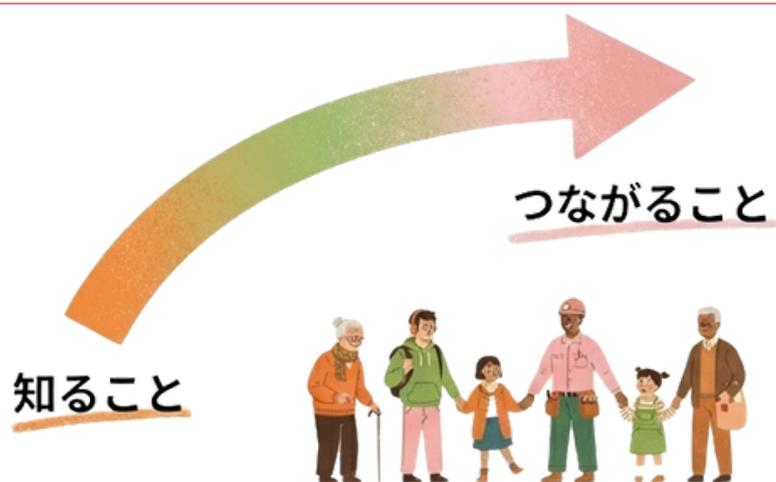
「土小学校 5年 大金みおです。」

「このフェスティバルは、地域で安心して暮らしたい。」

「困ったときに相談できる関係をつくりたい。」

「世代をこえてつながりたい。」

「そんな地域の思いから始まりました。」



顔の見える地域をつくる

「目指しているのは、地域の支え合いを“知ること”。」
「そして、実際につながることです。」
「顔の見える地域づくりを目指しています。」

地域福祉における「支え合い」とは？



おんぶして歩くこと？



声をかけ合う・できることで助け合う

特別な人だけじゃない。だれでも関われる。

👤③(サユカ)「土小学校2年 砂越咲由花です。」

👤④(エマ)「中原小学校2年 鈴木えまです。」

👤えま

「“支え合い”って聞くと、どんなイメージがありますか？」

👤サユカ

「たとえば...毎日だれかをおんぶして歩くこと？」

👤えま (少し笑いながら)

「それはちょっと大変すぎますね。」

👤サユカ

「支え合いは、そんな特別なことではありません。」

👤えま

「困っている人に声をかけたり。」

👤サユカ

「できることで少し手伝ったり。」

👤えま

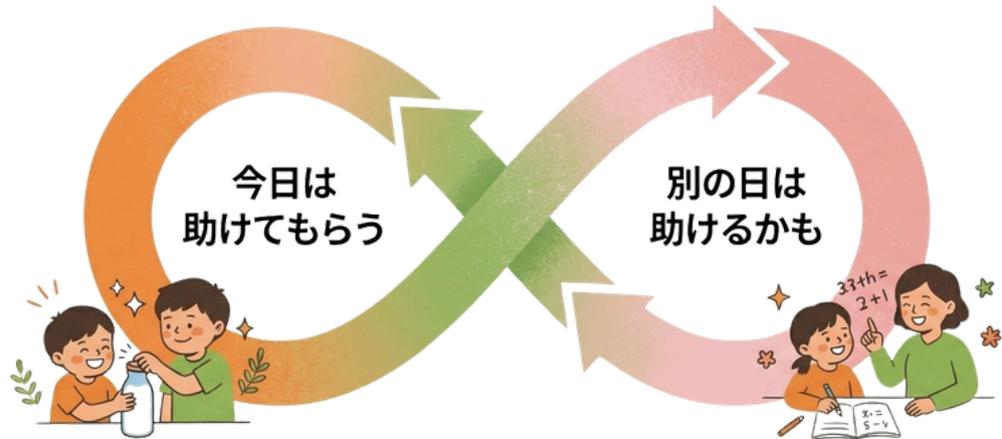
「そんな小さなことも、支え合いのひとつです。」

(少し間)

👤えま

「では、ちいきにはどんな人がいるのでしょうか？」

支え合いは一方通行ではない



👩 サユカ

「地域には、子どもから高齢者(こうれいしゃ)まで、いろいろな人が住んでいます。」

👩 えま

「元気な人もいれば、少し手助けが必要な人もいます。」

👩 サユカ

「でも、支える人と支えられる人が、ずっと同じとはかぎりません。」

👩 えま

「困ったときに助けてもらうこと。」

👩 サユカ

「そして、できるときに誰かを助けること。」

👩 えま・サユカ (合わせて)

「それが、ちいきの“おたがいさま”という考え方です。」

👩 えま

「では、その支え合いは、誰がしているのでしょうか？」

- 住民
- 団体
- 事業所
- 学校
- 行政

地域の支え合いの仕組み



「土浦日本大学中学校 2年 大金 です。」

「地域福祉は、一人だけで成り立つものではありません。」

「住民、地域団体、福祉事業所、学校、行政など、さまざまな存在が関わっています。」

「そして、それぞれが役割を持っています。」

「困っている人に気づく役割。」

「相談先につなぐ役割。」

「生活を支える役割。」

「安心できる場をつくる役割。」

「このように、それぞれが役割を持って支え合うことで、地域福祉が成り立っています。」

柏市ほのぼのプラザますお
(加賀三丁目16-8)



増尾地域いきいきセンター

年齢や対象を問わず、皆様の困りごとやお悩みについて一緒に考え、解決に向けたお手伝いをする身近な福祉の相談窓口です。



柏南部第2地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていくために、高齢者のかたやその御家族の健康、福祉、生活に関するさまざまな相談に対応し、総合的に支援します。

それでは具体的に、どのような施設があるかを紹介します。

「困ったとき、まず相談できる場所があります。」

増尾地域では、増尾駅の近くにある、ほのぼのプラザにある、

「地域包括支援センターや、いきいきプラザで相談することができます。」

「相談はもちろんのこと、日常的にイベントを開催していたり、交流の場としても利用できます。」

いきいきセンターはブースを出店していただいております。

ぜひ一度は足を運んでください。い。」

「特に支援が必要な方の生活を支え、活動の場をつくり、その人らしく生きることを支えています。」

ヴィヴァンホーム

回生の里

グループホーム増尾

サザビー・ドゥ

柏市立朋生園

ぶるーむ

みずたま介護ステーション柏南



「土小学校 6年 砂越乃ノ花 です。」

「ここからは、地域の福祉事業所を紹介します。」

増尾地域にはたくさんの事業所がありますが、福祉フェスティバルの開催に多大な協力を頂きました事業所を紹介します。

社会福祉法人新柏会

特別養護老人ホーム
新柏ヴィヴァンホーム

◇住所

〒277-0085
千葉県柏市中原1815-5

◇定員

特別養護老人ホーム・・・・・・100名
ショートステイ・・・・・・10名

新柏会は

『新柏ヴィヴァンホーム』
『ヴィヴァン保育園』
『ヴィヴァン亀甲台保育園』
を運営する社会福祉法人です。



「新柏ヴィヴァンホームは、特別擁護老人ホームです。
年を重ねて介護が必要になった高齢者の方が生活する場所
です。」

事業所紹介

ヴィヴァン（VIVANT）とは、フランス語で「いきいきとした」という意味です。私たちは介護サービスの提供を通じて介護を必要とする人、そのご家族にもいきいきと暮らしてほしい。施設名称にはそんな想いを込めております。

新柏ヴィヴァンホーム



特別養護老人ホーム

社会福祉法人や地方自治体が運営する公的な施設です。どなたでも入居できるわけではなく、特定の条件を満たした、常に介護が必要なのにご自宅での介護が困難な方が対象となります。

ショートステイとは

普段在宅で介護を受けている方で、そのご家族の方が一時的に介護が困難になった場合にご利用頂いているのがショートステイです。



✓ 仕事内容

利用者さんの日常生活（食事・入浴・移動など）の介助や、健康管理など生活を支える介護全般のサポートを行う仕事です。

✓ どんな人が働いているのか

未経験の方でも丁寧な研修があり始められ、介護福祉士などの資格があればより専門的な仕事や役割にも関わられる働き方です。



本日のブース紹介

体育館内のブースに来てくれた方には、近隣センター1F野点にて、抹茶をプレゼント

「食事やお風呂など、毎日の生活をサポートしながら、安心して過ごせるよう支えています。」

「今日は体育館にあるブースに来てくれた方には、お抹茶のプレゼントをもらえるそうです。」

「どんな場所か、ぜひ話を聞いてみてください。」

社会医療法人社団 蛭水会

介護老人保健施設

回生の里

◇住所

277-0032

柏市名戸ヶ谷929-1

◇定員

入所/100名

デイケア

(通所リハビリテーション) /40名

短期入所サービス

(ショートステイ) /空床利用にて実施

蛭水会は

『名戸ヶ谷病院』

『名戸ヶ谷記念病院』

『名戸ヶ谷あびこ病院』

『アネシス』

を運営する社会医療法人社団です。



回生の里は、介護老人保健施設です。
体のケアやリハビリをしながら生活する高齢者の方のための施設です。

事業所紹介

「職員が誇りを持って働けるように」。そんな想いを込めて、「回生の里」は、2021年、ホテルのようなデザインと快適さを持った施設に生まれ変わりました。

回生の里



介護老人保険施設とは

介護老人保健施設、通称老健は、65歳以上の要介護高齢者（要介護1以上）の中でも特に、医療ケアやリハビリが必要な人のための介護施設です。

デイケア（通所リハビリテーション）とは

ご自宅から通っていただき、リハビリテーション・食事・入浴・レクリエーションなどのサービスを提供します。



✓ 仕事内容

利用者さんの日常生活の介護やリハビリ支援、在宅復帰をめざしたケア、医療・介護スタッフとの連携などの支援全般を行う仕事です

✓ どんな人が働いているのか

未経験でも研修やサポート制度が整っていて始めやすく、介護福祉士・看護師・リハビリ職・栄養士など専門資格を持つ方もそれぞれの役割で活躍できます。



本日のブース紹介

体育館入り口にて、車椅子の自動車昇降体験

13:30- 東風会による和太鼓を演奏します。

「生活のお手伝いだけでなく、体を動かす練習や回復のサポートもしています。」

「ブースでは車いすの昇降機体験ができます。」

「普段できない体験なので、ぜひ参加してみてください。」



医療法人社団千葉医心会

グループホーム増尾

◇住所

〒277-0033
千葉県柏市増尾749

◇定員

総定員18名
(1ユニット当たり定員9名
(ユニット数：2ユニット))

千葉医心会は

『千葉県印西市を中心に、
介護老人保健施設や
サービス付き高齢者向け住宅、
訪問介護ステーション、
グループホームなどを展開する』

「グループホーム増尾は、認知症対応型共同生活介護施設です。
認知症のある高齢者の方が、少人数で一緒に生活する場所です。」

事業所紹介

『家庭的な環境の中で地域の皆様と関わりながら、その人らしい自立した尊厳ある生活が送れるようお手伝いします。』

グループホーム増尾



グループホームとは

グループホームとは、認知症を持つ高齢者が少人数で生活し家庭的な雰囲気の中で自主性を保ちある程度自立して生活をおくれるようケアする施設です。

認知症対応型共同生活介護施設です。



✓ 仕事内容

認知症対応型グループホームで、食事・入浴などの日常生活の介助や生活訓練・外出サポートなどを通して、利用者さんが自立した暮らしを続けられるよう支える仕事です。

✓ どんな人が働いているのか

未経験や無資格でも始められ、丁寧な研修や資格取得支援もあるので、介護の仕事が初めての方でも安心して働ける環境です（資格や経験があれば役割の幅が広がります）。



本日のブース紹介

体育館ブース：ビーズアクセサリー作り体験。

12:30～「よさこい」

「家のような雰囲気の中で、毎日の生活をサポートしています。」

「ブースではビーズアクセサリー作りの体験ができます。」

「自分だけの作品を作ってみてください。」

社会福祉法人彩会

生活介護事業所

ザザビー・ドウ

◇住所

〒277-0033

千葉県柏市増尾2-22-2

◇定員

40名

彩会は、
柏市と松戸市で障害福祉サービスを展開
地域との交流を大切に、
障がいのある方もない方も
一緒に活動しながら社会参加や
居場所づくりを進める社会福祉法人です。



「ザザビー・ドウは、障がいのある方が日中活動をする場所です。」

事業所紹介

バザーやフリーマーケットの開催など、障がいのある方々と地域の方々との交流を大切に、地域に根づいた活動をしています。

知的・身体・内部障害など、障がいの種類や程度に関係なく、同じ場所で一緒に活動しているのも特徴の一つです。

2022年6月、同じ柏市増尾地域の中に新施設を建設・移転しました

ザザビー・ドゥ



生活介護事業所とは

生活介護事業所とは、障害福祉サービスの中で、「生活介護」のサービスを提供する事業所のことです。「生活介護」とは、常時介護を必要とする障がい者が主に昼間において施設などで入浴、排泄、食事の介護や創作活動、生産活動の機会の提供などを受けることを指します。

生活介護は、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことを目的に行われています。

✓ 仕事内容

利用者さんの尊厳を大切にしながら、織物やリサイクル活動・余暇活動・イベント等を通して日常生活の支援と社会参加を促す活動を行う仕事です。

✓ どんな人が働いているのか

未経験でも利用者さんの活動を一緒に楽しみたい人なら始めやすく、生活支援・レクリエーションの支援に興味のある方が活躍できます。

本日のブース紹介

綿飴屋台出店

体育館ブース：フェルトボール作り体験

本館1F：バザー

「ものづくりやリサイクルなどの活動を通して、楽しく生活できるよう支援しています。」

「今日は綿あめ屋台や、フェルトボール作り体験を用意いただいております。」

「ぜひ遊びに来てください。」

指定管理者:社会福祉法人かたくり

多機能型事業所
(生活介護・就労継続支援B型)
柏市朋生園

◇住所

〒277-0085

柏市中原1816-6

◇定員

生活介護 (21名)

就労継続支援B型 (29名)

朋生園は、
18歳以上の知的障害のあるかたが
日々通所し、仕事を通して、
社会的自立を目指す施設です。

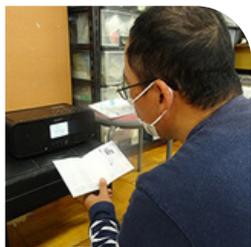


「柏市立朋生園は、障がいのある大人の方が通いながら活動する施設です。」
中原中学校の隣にあります。

事業所紹介

利用者ひとりひとりが日々成長し、自立できるようさまざまな支援や活動を行なっています。
季節ごとの楽しいイベントも好評をいただいています。

柏市朋生園



就労継続支援B型とは

一般的な就労が困難な人に、働く機会を提供される障害福祉サービスです。利用者は、年齢や体力面などで障害がある場合でも自治体や事業所のサポートのうえ、作業内容や勤務時間などを調整しながら生産活動を行うことができます。生産活動とは、軽作業、データ入力、農作業や調理、手芸品などのものづくりのようにさまざまです。活動の対価を受けながら、将来的に仕事に就くために必要な知識や能力の向上を目指します。



✓ 仕事内容

園芸・縫製などの作業支援や生活支援で、利用者さんの毎日を支える仕事。

✓ どんな人が働いているのか

「利用する方の生活や活動をサポートする支援員さんや、健康を見守るスタッフなどが働いています。」



本日のブース紹介

体育館ブース：持ち帰りできる種まき体験（先着60名）

「園芸やものづくりなどをしながら、社会とのつながりを大切にしています。」

「今日は種まき体験ができるブースを用意いただいております。」

「育てる楽しさを体験してみてください。」



「ぶるーむは、障がいのある子どもや大人をサポートしている施設です。」

事業所紹介

障がいを持ったお子様の成長にあわせて、切れ目なく一貫した支援ができる体制を整えています。

また、障がいや疾患の有無に関わらず皆さまにご利用いただける交流スペースを備えた施設など、地域に住む全員が笑顔になる居場所づくりを行っています。

柏にある4つの地域生活支援拠点のひとつです。

ぶるーむ



地域生活支援拠点とは

障がいのある方や家族が、地域で安心して生活できるように支える「地域の安心拠点」です。

- 相談できる場所がある
- 助けてくれる人につながる
- 緊急のときも安心

「困ったときに一人にならないための地域の仕組み」です。



✓ 仕事内容

障がいを持った子どもたちの自立支援事業、明るい施設です。

✓ どんな人が働いているのか

未経験でも丁寧なフォローがあり、支える気持ちがあれば始めやすいです。



本日のブース紹介

体育館ブース：ムース食品の試食体験
利用者様の制作物の販売コーナー

「子どもたちの成長を支えたり、地域で安心して生活できるように支援しています。」

「ブースではムース食品の試食や、手作り作品の販売があります。」

「ぜひ味見してみてください。」

東京海上日動ベターライフサービス株式会社

みずたま介護ステーション柏南

◇住所

〒277-0051

千葉県柏市加賀3丁目24番6号

伊藤ビル3階B棟



「みずたま介護ステーション柏南は、介護スタッフが家に訪問して、高齢者の生活をサポートする事業所です。」

事業所紹介

ご自宅で介護サービスを利用しながら過ごされる方のサポートを行っており、お客様のお宅に訪問してケアを行う訪問介護事業とサービスをご利用いただくための計画作成の居宅介護支援事業を行っています。

お客様が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らし続けることができるようサポートを行って参ります。

みずたま介護ステーション柏南



居宅介護支援事業とは

介護保険サービスを利用頂くためのケアプラン(計画作成)を行っております。ケアマネージャーがご自宅に訪問のうえ、お客様ごとの日々の困りごとや体調などを伺い、介護サービスをご利用頂くためのサポートや計画作成を行っています。

訪問介護事業とは

ヘルパーがご自宅に訪問のうえ、自宅で生活を送る方のサポートを行っております。排泄介助、入浴といった直接お体に触れる身体介護や買い物や掃除のお手伝いを行い、介護を必要とされる方やお一人暮らしのご高齢者様のサポートを行っています。



✓ 仕事内容

利用者さんのご自宅を訪問して食事・入浴などの日常生活支援や相談・ケアプランの調整など、訪問介護を中心に暮らしを支える仕事です。

✓ どんな人が働いているのか

未経験や無資格でも始められる支援職があり、介護やケアに関心のある人や人と関わるのが好きな人は学びながら働ける環境です(介護職員初任者研修などの資格があれば働きやすい)。



本日のブース紹介

本日は予定が合わずブースはございません。
興味がある方は直接お問い合わせください。

「自宅で安心して暮らせるように、日常生活のお手伝いをしています。」

「本日はブースの出店はありませんが、気になる方は直接お問い合わせください。」

子どもたちも地域をつくる一員です

学校も地域福祉の
大切な仲間です

- ・ 柏市立土小学校
- ・ 柏市立増尾西小学校
- ・ 柏市立中原小学校
- ・ 柏市立名戸ヶ谷小学校
- ・ 柏市立土中学校
- ・ 柏市立中原中学校
- ・ 千葉県立柏南高校
- ・ 芝浦工業大学柏中学校・高等学校

😊② (大金みおさん)

「地域福祉には、学校も関わっています。」

「本日もたくさんの学校から地域の一員として、子ども達も参加しています。」

「子ども達も学校も地域の大切なメンバーです。」

日常の中で地域を支える人たち

増尾地域ふるさと協議会
増尾地区社協部
増尾地域見守り助け合い隊
子育てサロン増尾・加賀
コミュニティーのこのこ
サロンつちのこ
増尾ジェンヌの会

地域支えあい推進員 
民生委員・児童委員
柏市民健康づくり推進員
土地区青少年健全育成推進協議会
増尾睦
増尾民話の里プロジェクト



「地区社協部をはじめ、地域には様々な団体があります。」
「活動している人たちは、私たちと同じく増尾地域に住んでいる人たちです。」
「民生委員や支えあい推進員なども同じで、ボランティアとして活動しています。」
「現在、どの団体も人手不足という課題があります。」
「新しく参加してくれる人を待っています。」

12



支え合いの一歩は特別なことではありません

👤① (田中さん)

「私たちにできることは、実はたくさんあります。」

「イベントに参加すること。」

「お手伝いやボランティアとして関わること。」

「そして、福祉の仕事として関わるという選択もあります。」

「今、福祉の現場では人手が足りないという課題もあります。」

「だからこそ、地域みんなの参加が大切です。」

増尾近隣センター2F

- 料理実習室前 : カフェ
- 和室 : ゲームコーナー
- 会議室A : 野菜摂取測定コーナー
: フレイルチェック

増尾近隣センター1F

- 会議室B : バザー (ザザビー・ドゥ)
- ホール : ポップコーン
: 野点 (ヴィヴァンホーム)
: 受付&クイズラリー
- 駐車場 : 焼きそば (増尾睦)
: フランクフルト (民話の里)
: わたあめ (ザザビー・ドゥ)

増尾近隣センター 2階



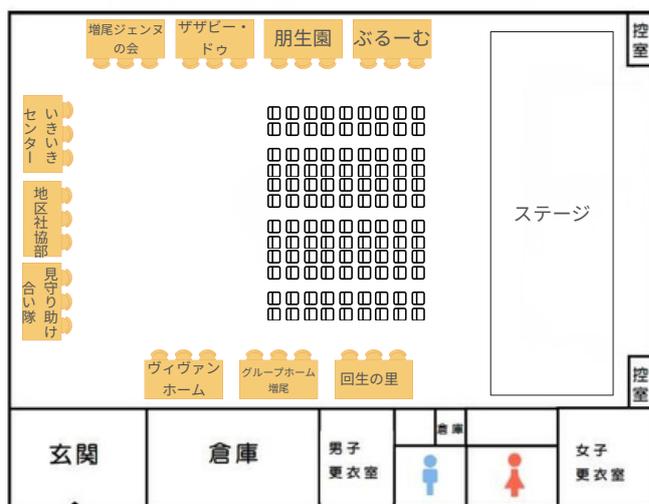
増尾近隣センター 1階



「会場にはたくさんのブースがあります。」
「ぜひ、気になったところに足を運んでください。」

体育室とステージスケジュール

増尾近隣センター 体育室



ステージスケジュール

- 10:30～ オープニングセレモニー
- 11:00～ 民話の語り部（土小学校）
- 12:00～ トーンチャイム（サザビー・ドゥ）
- 12:30～ よさこい（グループホーム増尾）
- 13:00～ 和太鼓演奏（回生の里）
- 13:30～ 囃むカテスト（LION協賛）
- 13:50～ ダンス（Team NALU）
- 14:00～ クロージングセレモニー

体育館の中にもブースがあります。」

「体験や展示、交流ができる場所なので、ぜひ足を運んでみてください。」

「また、体育館のステージでは、これから様々なプログラムが行われます。」

ぜひ見に来てください。



困ったときに相談
できる場所がある



誰かのために働き、
支えている人がいる



いつもの増尾の中に、
福祉の支え合いがある

「ここで、少しだけ考えてみてください。」

(小さく間)

「もし、自分や家族が困ったとき、相談できる場所を知っていますか？」

(ゆっくり)

「今日お伝えしたかったことは三つあります。」

「困ったときに相談できる場所があること。」

「地域には、見えないところで支えている人がいること。」

「福祉は特別なものではなく、私たちのすぐ近くにあることです。」

「支え合いは、ここにいる一人ひとりから始まります。」

つながりのスタート

15

この福祉フェスティバルが
増尾地域の新しいつながりの
スタートになりますように

どうぞ最後までお楽しみください

「このフェスティバルが、増尾地域の新しいつながりのスタート
になることを願っています。」
「ありがとうございました。」